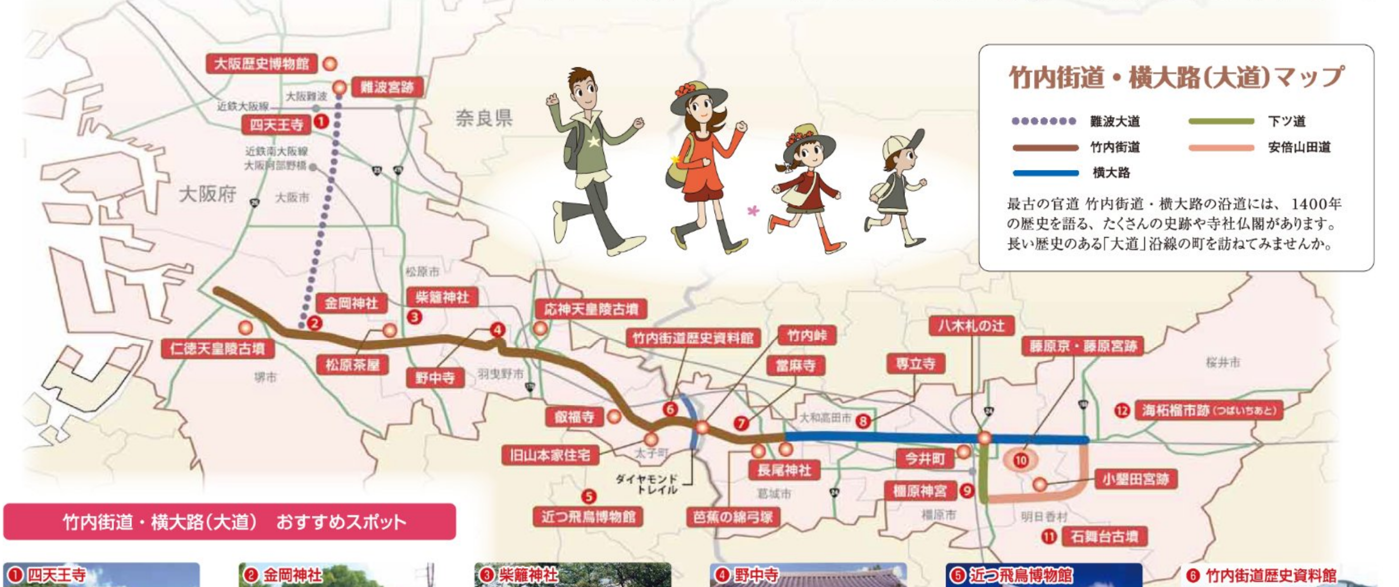
古代の道からまちづくり
大道（竹内街道・横大路）

竹内街道・横大路（大道）『官道1400年』
日本最古の官道に、歴史の息吹を感じて



竹内街道・横大路（大道）マップ

- 難波大道
- 竹内街道
- 横大路
- 下ツ道
- 安倍山田道

最古の官道 竹内街道・横大路の沿道には、1400年の歴史を語る、たくさんの史跡や寺社仏閣があります。長い歴史のある「大道」沿線の町を訪ねてみませんか。

竹内街道・横大路（大道）　おすすめスポット

❶ 四天王寺

593年に聖徳太子が建立した日本初の本格的な官寺。南から北へ向かって中門、五重塔、金堂、講堂が一直線に並び、それを回廊が囲む形式は、日本で最も古い建築様式のひとつ。本坊庭園には4つの茶室があり、そのうちのひとつでは抹茶を楽しむことができる。

❷ 金岡神社

絵所長者という絵の仕事をする役所で、最も重きをなした平安前期の宮廷画家・巨勢金岡（こせのかなおか）を祭る金岡神社。境内の樹齢900年と推定される御神木の楠は、堺市指定保存樹木に指定されている。

❸ 柴籬神社

柴籬（しばがき）神社は、5世紀の初めに第18代・反正天皇の宮跡として創建されたと伝えられている。反正天皇は別名・瑞歯別命（みずはわけのみこと）といわれ、生まれながら歯が立派であったと別記にも記されていることから、境内には全国でも珍しい歯の神様が祭られている。

❹ 野中寺

聖徳太子の命により、蘇我馬子（そがのうまこ）が建立したと伝えられる野中寺（やちゅうじ）。古くは南大門が竹内街道に面する大伽藍で、境内には往時を伝える巨大な塔心礎（とうしんそ）が残されている。

❺ 近つ飛鳥博物館

古墳時代から飛鳥時代（3世紀～8世紀）の時代を専門とした、主に考古系資料を扱った歴史博物館。隣接した国史跡「一須賀古墳群」を「近つ飛鳥風土記の丘」と命名し、古墳公園として保存、公開している。

❻ 竹内街道歴史資料館

竹内街道と太子町の歴史を紹介する資料館。竹内街道を「石の道」「最古の官道・大道」「太子信仰の道」「庶民の道」の4つのテーマで展示し、館内のマジックビジョンは竹内街道の幕開けから現代に至るまでの歴史を映像で分かりやすく解説している。

❼ 當麻寺

飛鳥時代に創建され白鳳・天平様式の大伽藍を有する當麻寺は、金堂の弥勒仏や四天王、梵鐘などの白鳳美術を今に伝えるほか、古代の三重塔が東西一対で残る全国唯一の寺としても知られている。

❽ 専立寺

大和五ヶ所御坊の一つで、別名・高田御坊。慶長5（1600）年創建。豪華な彫刻を施す表門、御坊格の真宗寺院にふさわしい太鼓楼、重厚な築地塀が残る。大和地方で、これだけ近世成立の寺内町の遺構が残る例は少なく、歴史的景観を形成している。

❾ 橿原神宮

神武天皇が橿原宮で即位されたという「日本書記」の記述に基づき、1890年に創建された。本殿は、京都御所の賢所（かしこどころ）を移築したもので、境内参道南側にある文華殿は、重要文化財に指定されている。

❿ 藤原京・藤原宮跡

条坊制を採用した日本初の本格的な計画都市。天武天皇の死後、その計画を皇后の持統天皇が引き継ぎ造営。694年に飛鳥浄御原宮から都が移され、710年に平城京に遷るまでの16年間、古代日本の首都として機能した。

⓫ 石舞台古墳

日本最大級の横穴式石室を持つ方墳で、7世紀初め頃の築造といわれている。早い時期に古墳上部の封土が失われたため、巨大な天井岩がむき出しになっている。その姿から「石舞台」の名で呼ばれるようになった

⓬ 海柘榴市跡（つばいちあと）

海拓榴市跡（つばいちあと）にある仏教伝来の地碑。欽明天皇の時代に百済（今の韓国西部）の聖明王からの使節もこの地に上陸し、仏像と経典を贈り、仏教の信仰をすすめたと言われている。

日本の歴史を語るうえで、極めて重要な歴史街道

大阪と奈良を結ぶ竹内街道・横大路は「日本最古の国道（官道）」とされる。この道が古代に造られてから今年11月で1400年を迎えるのを前に、沿線の10市町村と大阪府、奈良県による1400年活性化プロジェクトが、3月30日（土）からスタート。街道を巡るウオーキングや、各地でのイベントを通して、街道の魅力を再発見していく。

「難波（なにわ）より京（みやこ）に至る大道を置く」。

日本書紀の推古天皇21（613）年の11月の条に記された「大道」は、現在、大阪と奈良を結ぶ竹内街道・横大路と重なる。この道が日本最古の国道とされ、飛鳥時代、外交の玄関口だった難波津（なにわづ）から飛鳥の都へ大陸の技術や文化が伝えられたことから「シルクロードの東端」とも呼ばれる。

今年は、遠い昔から数え切れないほどの旅人が歩いた大道が造られてから、1400年という記念の年。沿線の大阪市、堺市、松原市、羽曳野市、太子町、葛城市、大和高田市、橿原市、桜井市、明日香村と大阪府、奈良県は、1400年活性化実行委員会を設立。「竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道（大道）～」と題して、1400年活性化プロジェクトを推進する。

官道1400年を迎え、次々とイベントが開催

大道については諸説あるが、同実行委員会では京都大名誉教授で日本史学者の故・岸俊男さんが提唱し、ほぼ定説とされるルートを採用。大阪市中央区の難波宮（なにわのみや）跡から南へ進み、堺市から竹内街道で東へ向かい、竹内峠を越えて葛城市に入り、奈良盆地を東西に貫く横大路に続く。沿道には約1400年の歴史を物語る史跡や寺社仏閣が今も残っている。

プロジェクトは3月30日（土）にキックオフイベント「記念専用列車『竹内街道・横大路（大道）1400年号』で行く！ご当地キャラクターの旅」でスタート。近鉄大阪阿部野橋駅から沿線のご当地キャラクターたちと記念列車に乗り込み、飛鳥駅で奈良県のマスコットキャラクター「せんとくん」たちの出迎えを受け、飛鳥駅から石舞台古墳までを巡る「ロマンウォーキング」を実施する（有料・参加申し込みは、☎06-6535-8640 近畿日本ツーリストトラベルセンター西日本「ご当地キャラクターの旅」）。

節目の11月に向けて、街道を巡る「リレーウォーキング」やサイクリング、「街道及びその沿線の歴史を感じる風景」をテーマにしたフォトコンテストなどを開催する予定。各地で行われるイベントや祭りなども通じて、街道の魅力を発信していく。

応神天皇陵古墳

古代の道から魅力あるまちづくりを

キャッチコピーは「古代の道からまちづくり」。歴史の舞台である街道の魅力を再発見するとともに、歴史的な空間を守り、さらに魅力あふれる街道を創ることをめざす。

11月17日（日）には大阪市中央区の大阪歴史博物館、難波宮跡公園などで「1500年キックオフイベント」を開催。首長サミット（記念式典）やフォトコンテストの表彰式などを行い、新しい100年へのステップとする。

プロジェクトの問い合わせは大阪府都市整備部事業管理室（☎06・6944・9268）へ。

街道には、日本の原風景が数多く現存する

周辺地域の魅力を再発掘

太子町長・実行委員会会長
浅野 克己 さん

この取り組みは、大陸外交の玄関港であった難波津と大和飛鳥の都を結ぶ「竹内街道・横大路（大道）」が敷設され、今年で1400年を迎えることを契機に、府県を越えて街道沿道の10の市町村が一体となり推し進めるプロジェクトです。

この節目の年を契機に、周辺地域の魅力を再発掘し、地域をつなぎ、紡ぎ、さまざまな交流を促進することにより、地域の活性化につなげることを目指して、多くの方に知ってもらい、訪ねてもらうためのいろいろなプログラムをご用意しています。皆様のご参加をお待ち申し上げています。

多彩なイベントにご参加を

葛城市長・実行委員会副会長
山下 和弥 さん

本年、竹内街道・横大路（大道）が敷設され1400年の節目を迎えることになりました。この竹内街道は、飛鳥時代に遣隋使や渡来人が往来し、さまざまな大陸文化をもたらしたものと考えられ、街道周辺には数多くの歴史遺産があります。この竹内街道や周辺地域の歴史などの魅力の再発見につなげるため、3月30日のキックオフイベントにはじまり、4月から11月にかけて、首長サミット、ウォーキング、サイクリング、歴史講座、物産展などのイベントが開催されます。これを機会に多くの皆さまにご参加いただきまして、竹内街道をぜひ訪れていただきたいと考えています。

ヤマトと東アジアを結ぶ道

大阪府立近つ飛鳥博物館館長
白石 太一郎 さん

『日本書紀』によると、推古21年（613）11月、難波より京（飛鳥京）に至る大道を置いたという。この大道こそ、河内側の竹内街道（丹比道）から二上山の北の大坂峠（穴虫峠）ないし南の竹内峠を越え、横大路を経て飛鳥に至るルートにほかならないのではないかとする古代史家の故・岸俊男氏の有力な仮説がある。まさに1400年目にあたる今年、この説をうけてその沿線の自治体や市民の方々が、これを記念するさまざまなイベントを企画されている。地域の歴史を掘り起こし、それを地域振興に生かそうとする試みはまことに喜ばしい。

この大和南部から二上山麓を経て大阪湾岸に至る古道は、単に大和と河内を結ぶ道にとどまるものではない。それはおそらく3世紀の邪馬台国時代以来、大和川を利用する水運とともに、平城遷都以前に倭国の中心であった奈良盆地南部と朝鮮半島や中国とを結ぶ大動脈でもあった。このルートを経て東アジアの先進的な文物、技術、学問、思想がもたらされ、倭国が文明社会の仲間入りを果たすのである。

この意義深い記念行事が、東アジアとの交流によって繁栄した関西の歴史を振り返り、関西が元気を取り戻す一つの契機となることを願ってやまない。

〈企画・制作〉産経新聞社営業局